

# 身体拘束ゼロ(廃止)宣言

---

私たちは、患者様の人権と尊厳を守り、その人らしい自立した生活を支援するため、原則として身体拘束を行いません。

## 1.拘束しないケアの実践

私たちは、身体拘束が心身に与える弊害を深く認識し、拘束に頼らないケアの知識と技術の向上に努めます。

## 2.代替案の徹底追及

安全確保のためにやむを得ない状況が生じた場合でも、容易に拘束せず、多職種で協議して「切迫性・非代替性・一時性」の3要件を厳格に検証し、代替策を徹底的に追求します。

## 3.ゼロに近づける努力

全職員が一丸となって組織的な取り組みを行い、身体拘束を限りなくゼロに近づける環境作りを継続します。

病院長 北田 文則